

# Dell Latitude 3300

## セットアップと仕様ガイド



## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2020 年 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

<b>1 PC のセットアップ</b> .....	<b>5</b>
<b>2 シャーシの概要</b> .....	<b>7</b>
正面図.....	7
左面図.....	8
右面図.....	8
底面図.....	9
<b>3 キーボードのショートカット</b> .....	<b>10</b>
<b>4 技術仕様</b> .....	<b>11</b>
プロセッサ.....	11
メモリ.....	11
ストレージ.....	12
システム基板のコネクタ.....	12
メディアカードリーダー.....	12
オーディオ.....	12
内蔵グラフィックス.....	13
カメラ.....	13
通信.....	13
ワイヤレス.....	13
ポートとコネクタ.....	14
ディスプレイ.....	14
キーボード.....	15
タッチパッド.....	15
バッテリー.....	15
電源アダプタ.....	16
寸法と重量.....	17
コンピュータ環境.....	17
セキュリティ.....	17
セキュリティソフトウェア.....	18
<b>5 セットアップユーティリティ</b> .....	<b>19</b>
ブートメニュー.....	19
ナビゲーションキー.....	19
セットアップユーティリティのオプション.....	20
一般オプション.....	20
システム設定.....	21
ビデオ画面のオプション.....	23
セキュリティ.....	23
セキュアブート.....	25
インテルソフトウェアガードエクステンションズのオプション.....	25
パフォーマンス.....	26
電源管理.....	26

POST 動作.....	28
Virtualization Support ( 仮想化サポート ) .....	29
ワイヤレスオプション.....	29
メンテナンス.....	29
システムログ.....	30
SupportAssist システムの解決策.....	30
ブート シーケンス.....	30
Windows での BIOS のアップデート.....	31
USB フラッシュドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	31
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	32
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	32
システム セットアップパスワードの割り当て.....	32
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	33
<b>6 ソフトウェアとトラブルシューティング.....</b>	<b>34</b>
オペレーティングシステム.....	34
Windows 用の USB 回復ドライブの作成.....	34
Windows ドライバのダウンロード.....	34
<b>7 ヘルプ.....</b>	<b>36</b>
デルへのお問い合わせ.....	36
デルへのお問い合わせ.....	36




# PC のセットアップ

1. 電源アダプターを接続して、電源ボタンを押します。



2. Windows システムのセットアップを完了します。
3. 画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。
  - ・ ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
  - ・ **メモ:** セキュアなワイヤレス ネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレス ネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
  - ・ インターネットに接続されている場合は、サインインするか、アカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフライン アカウントを作成します。
  - ・ Support and Protection サポートおよび保護の画面で、連絡先の詳細を入力します。
4. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。— 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	<b>Dell 製品の登録</b> デルに、お使いの PC を登録します。
	<b>デルのヘルプとサポート</b> PC のヘルプとサポートにアクセスします。
	<b>SupportAssist</b> PC のハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。 <b>メモ:</b> SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。


**Dell Update**

重要な修正プログラムおよびデバイスドライバが提供された場合に、お使いの PC を更新します。

**Dell Digital Delivery**

さまざまなソフトウェアアプリケーション(購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど)を、お使いの PC にダウンロードします。

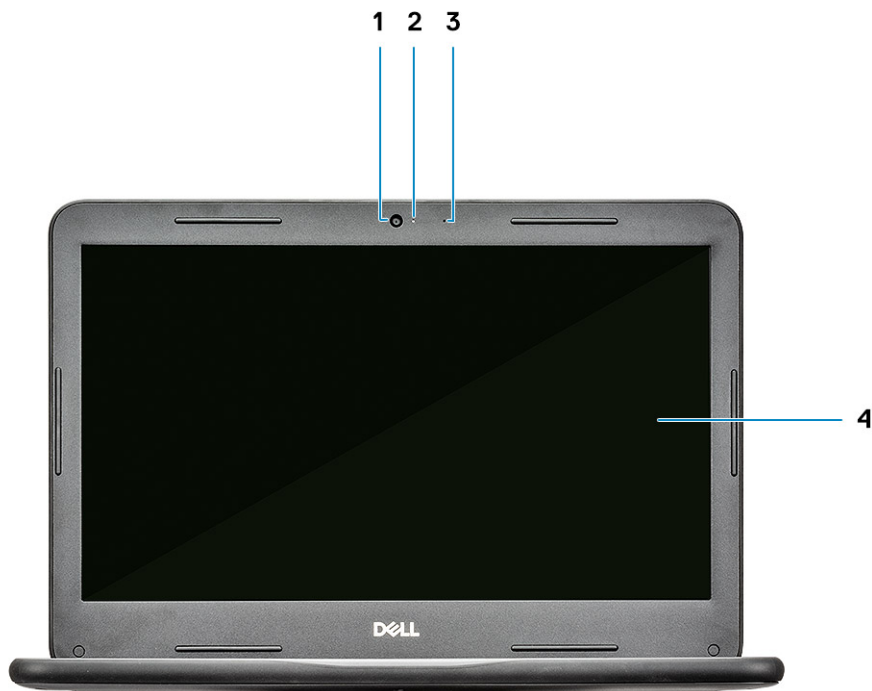
5. Windows 用の回復ドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、回復ドライブを作成することが推奨されています。

6. 詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

## シャーシの概要

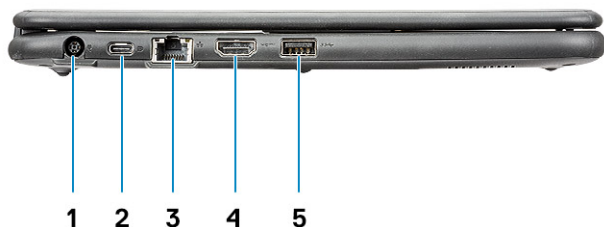
## 正面図



1. カメラ
3. マイク

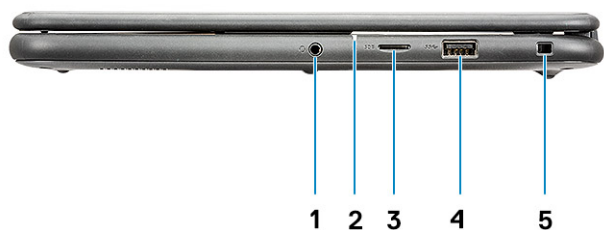
2. カメラステータスライト
4. LCD パネル

## 左面図



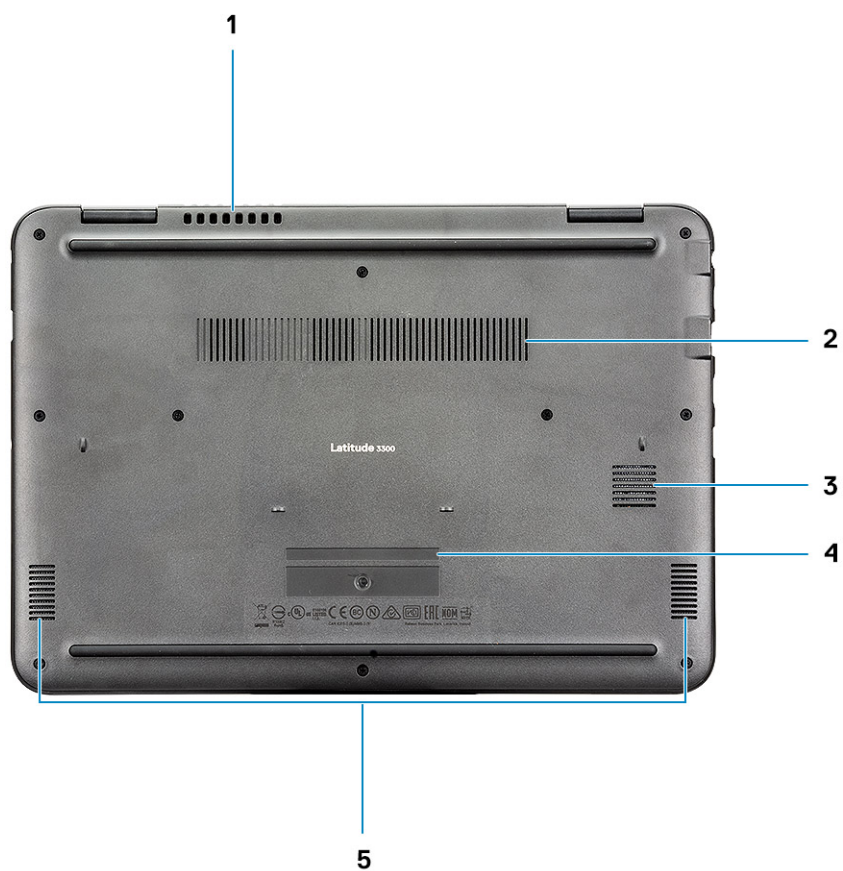
- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 電源コネクタ      | 2. USB Type-C ポート |
| 3. ネットワークポート   | 4. HDMI ポート       |
| 5. USB 3.0 ポート |                   |

## 右面図



- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. オーディオポート    | 2. バッテリーステータスライト |
| 3. microSDポート  | 4. USB 3.0ポート    |
| 5. くさび形ロックスロット |                  |

# 底面図



- 1. システム ファン通気孔
- 3. SSD 通気孔
- 5. スピーカー

- 2. ヒートシンク通気孔
- 4. サービスタグ

# キーボードのショートカット

**メモ:** キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	説明
Fn+F1	消音
Fn+F2	音量を下げる
Fn+F3	音量を上げる
Fn+F4	マイクのミュート
Fn+F5	Num lock
Fn+F6	スクロール ロック
Fn+F8	ディスプレイの切り替え (Win+P)
Fn+F9	検索
Fn+F11	プリント スクリーン
Fn+F12	挿入
Fn+Home	ワイヤレスのオン/オフの切り替え
Fn+End	スリープ
Fn+Ctrl	アプリケーションの起動
Fn+Esc	Fn キーロックの切り替え
Fn+上矢印	輝度を上げる
Fn+下矢印	輝度を下げる

## プロセッサ

**メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサの仕様

タイプ	タイプ	UMA グラフィックス
インテル コア i3 - 7020U (デュアルコア、スレッド数：4、 TDP：15 W、3 M キャッシュ、2.3 GHz)	Kaby Lake U	インテル HD グラフィックス 620
インテル Celeron プロセッサ 3865U (デュアルコア、スレッド数：2、 TDP：15 W、2 M キャッシュ、1.80 GHz)	Kaby Lake U	インテル HD グラフィックス 610
インテル Pentium プロセッサ 4415U (デュアルコア、スレッド数：4、 TDP：15 W、2 M キャッシュ、2.3 GHz)	Kaby Lake U	インテル HD グラフィックス 610
インテル Core i5-8250U (クワッドコア、スレッド数：8、 TDP：15 W、6 M キャッシュ、1.6 GHz)	Kaby Lake R	インテル UHD グラフィックス 620

## メモリ

表 4. メモリの仕様

メモリの仕様	
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	16 GB
スロット数	SODIMM (1)
スロットごとにサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 GB (1x4 GB)</li> <li>・ 8 GB (1x8 GB)</li> <li>・ 16 GB (1x16 GB)</li> </ul>
タイプ	DDR4

## メモリの仕様

速度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ KBL-U : 2133 MHz</li><li>・ KBL-R : 2400 MHz</li></ul>
----	---

# ストレージ

表 5. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
M.2 SSD	2230	PCIe	128 GB/256 GB
M.2 eMMC	2242	SATA	64 GB

# システム基板のコネクタ

表 6. システム基板のコネクタ

## システム基板のコネクタ

M.2 コネクタ	2 台
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スロット 1 : 2230/2242 Key-M ( ストレージ用 )</li><li>・ スロット 2 : 2230 Key-A ( WLAN カード用 )</li></ul>

# メディアカードリーダー

表 7. メディアカードリーダーの仕様

## メディアカードリーダー

タイプ	microSD カードスロット
サポートされているカード	<ul style="list-style-type: none"><li>・ SD</li><li>・ SDHC</li><li>・ SDXC</li></ul>

# オーディオ

表 8. オーディオの仕様

## オーディオの仕様

コントローラ	Realtek ALC3246
タイプ	4 チャンネル HD オーディオ
スピーカー	2 ( 指向性スピーカー )
インタフェース	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユニバーサルオーディオジャック</li><li>・ 高音質スピーカー</li><li>・ シングルマイク</li><li>・ ステレオヘッドセット / マイクコンボ</li></ul>
アンプ内蔵スピーカー	2 W ( RMS ) / チャンネル

# 内蔵グラフィックス

表 9. 内蔵グラフィックの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル HD グラフィックス 620	UMA	インテル Core i3 - 7020 U	内蔵	共有システムメモリ	・ HDMI 1.4 a ・ DisplayPort (Type-C 経由)	4096 x 2304
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	インテル Core i5 - 8250 U	内蔵	共有システムメモリ	・ HDMI 1.4 a ・ DisplayPort (Type-C 経由)	4096 x 2304
Intel HD グラフィックス 610	UMA	インテル Celeron 3865 U/ Pentium 4415 U	内蔵	共有システムメモリ	HDMI 1.4 a <b>① メモ: Celeron CPU の SKU には、USB Type-C ポートはありません</b>	4096 x 2304

# カメラ

表 10. カメラの仕様

仕様	
解像度	カメラ : ・ 静止画像 : 0.92 メガピクセル ・ 動画 : 1280 x 720 ( 30 fps において )
対角視野角	・ カメラ : 78.6 度 ( 光学 FOV ) / 83.5 度 ( ME FOV )

# 通信

表 11. 通信の仕様

通信の仕様	
ネットワークアダプター	内蔵 Realtek RTL8111HSD 10/100/1000 Mb/s Ethernet ( RJ-45 )

# ワイヤレス

表 12. ワイヤレスの仕様

ワイヤレスの仕様	
インテル Dual Band Wireless-AC 8265 802.11AC 2 x 2 Wi-Fi + BT 4.2 LE M.2 ワイヤレス カード	
Qualcomm® QCA61x4A 802.11ac MU-MIMO Dual Band ( 2 x 2 ) Wi-Fi + Bluetooth 4.2 LE M.2 ワイヤレス カード	

# ポートとコネクタ

表 13. ポートおよびコネクタの仕様

## ポートおよびコネクタの仕様

メモリカードリーダー	microSD 3.0 メモリカードリーダー
USB	<ul style="list-style-type: none"><li>・ USB 3.1 Gen 1 Type-A ポート (2)</li><li>・ USB 3.1 Gen 1 Type-C ポート (1) ( Celeron SKU を除く )</li></ul>
セキュリティ	Noble Wedge 形ロックスロット
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユニバーサルオーディオジャック</li><li>・ シングルマイク</li></ul>
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ HDMI 1.4 a</li><li>・ DisplayPort ( Type-C ポート経由 )</li></ul>
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ (1)

# ディスプレイ

表 14. ディスプレイの仕様

## ディスプレイの仕様

タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 13.3 インチ フル HD WVA ( 1920 x 1080 ) True-life ( 16 : 9 ) WLED タッチ スクリーン</li><li>・ 13.3 インチ HD ( 1366 x 768 ) 非光沢 ( 16 : 9 ) WLED 非タッチ スクリーン</li></ul>
高さ ( アクティブ エリア )	フル HD : 165.24 mm HD : 164.97 mm
幅 ( アクティブ エリア )	フル HD : 293.76 mm HD : 293.42 mm
対角線	フル HD : 337.044 mm ( 13.3 インチ ) HD : 336.616 mm ( 13.3 インチ )
明るさ/輝度 ( 標準 )	220 nits
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 ( 最小 )	フル HD : +/-80 HD : +/-40
垂直可視角度 ( 最小 )	フル HD : +/-80 HD : +10/-40

# キーボード

表 15. キーボードの仕様

## キーボードの仕様

キーの数	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 82 キー (米国)</li><li>・ 83 キー (英国)</li><li>・ 86 キー (日本)</li><li>・ 84 キー (ブラジル)</li></ul>
サイズ	圧縮 <ul style="list-style-type: none"><li>・ X = 19.05 mm キー ピッチ</li><li>・ Y = 18.05 mm キー ピッチ</li></ul>
バックライト付きキーボード	なし
レイアウト	米国/英国/日本/ブラジル

# タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

## 仕様

解像度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水平方向 : 3220</li><li>・ 垂直方向 : 1952</li></ul>
寸法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 幅 : 105 mm ( 4.13 インチ )</li><li>・ 高さ : 65 mm ( 2.56 インチ )</li></ul>
マルチタッチ	最大 5 本の指をサポート <b>①</b> <b>メモ:</b> オペレーティング システムによってジェスチャのサポートは異なります。

# バッテリー

表 17. バッテリーの仕様

## バッテリーの仕様

タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 42 WHr「スマート」リチウムイオン 3 セル バッテリー</li><li>・ 56 WHr「スマート」リチウムイオン 4 セル バッテリー</li><li>・ 42 WHr「スマート」リチウムポリマー 3 セル バッテリー</li></ul>
寸法	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 42 WHr「スマート」リチウムイオン<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高さ : 5.9 mm ( 0.23 インチ )</li><li>・ 幅 : 97.15 mm ( 3.82 インチ )</li><li>・ 奥行き : 184.15 mm ( 7.25 インチ )</li><li>・ 重量 : 0.2 Kg ( 0.44 ポンド )</li></ul></li><li>2. 56 WHr「スマート」リチウムイオン<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高さ : 5.9 mm ( 0.23 インチ )</li><li>・ 幅 : 98.20 mm ( 3.87 インチ )</li><li>・ 奥行き : 233.37 mm ( 9.19 インチ )</li><li>・ 重量 : 0.25 Kg ( 0.55 ポンド )</li></ul></li><li>3. 42 WHr「スマート」リチウムポリマー</li></ol>

## バッテリーの仕様

	<ul style="list-style-type: none"><li>高さ : 5.9 mm ( 0.23 インチ )</li><li>幅 : 97.15 mm ( 3.82 インチ )</li><li>奥行き : 184.15 mm ( 7.25 インチ )</li><li>重量 : 0.195 Kg ( 0.43 lb )</li></ul>
電圧	<ul style="list-style-type: none"><li>42 WHr - 11.40 V DC</li><li>56 WHr : DC 15.20 V</li></ul>
寿命	42 WHr - 放電/充電サイクル 300 回に対して 1 年間の保証 56 WHr - 放電/充電サイクル 1000 回に対して 3 年間の保証 ( オプション )
コンピュータ非起動時の充電時間 ( 概算 )	<b>高速充電モード</b> 0 ~ 15°C : 4 時間 16 ~ 45°C : 2 時間 46 ~ 60°C : 2 時間 <b>標準モード</b> 0 ~ 15°C : 4 時間 16 ~ 60°C : 3 時間 46 ~ 60°C : 3 時間
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。
温度範囲 : 動作時	0 ~ 35 °C ( 32 °F ~ 95 °F ) 充電 : 0°C ~ 50°C ( 32°F ~ 122°F ) 放電 : 0°C ~ 70°C ( 32°F ~ 158°F )
温度範囲 : 保管時	-20°C ~ 65°C ( 4°F ~ 149°F )
コイン型電池	CR2032

## 電源アダプタ

表 18. 電源アダプタの仕様

次の表に、電源アダプタの仕様を示します

タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>65 W バレル タイプ</li><li>アップセル Type-C アダプタ</li></ul>
入力電圧	AC 100 ~ 240 V
入力電流 ( 最大 )	2.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz
出力電流	3.34 A
定格出力電圧	19.5 VDC
温度範囲 ( 動作時 )	0°C ~ 40°C ( 32°F ~ 104°F )
温度範囲 ( 非動作時 )	40°C ~ 70°C ( -40°F ~ 158°F )

# 寸法と重量

表 19. 寸法と重量

寸法と重量	
高さ	前面の高さ - 22.3 mm ( 0.88 インチ ) 背面の高さ - 22.3 mm ( 0.88 インチ )
幅	329.6 mm ( 12.98 インチ )
奥行き	230.45 mm ( 9.07 インチ )
重量	本体重量 1.59 kg ( 3.52 ポンド )

# コンピュータ環境

**i** | **メモ:** 空気汚染物質レベル : G1 ( ISA-S71.04-1985 の定義による )。

デルの製品の安全、EMC、環境データシートの情報については、<https://www.dell.com/learn/us/en/uscorp1/product-info-datasheets-safety-emc-environmental> を参照してください。

表 20. コンピュータ環境

物理的条件	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35 °C ( 32 °F ~ 95 °F )	-40°C ~ 65°C ( -40°F ~ 149°F )
相対湿度 ( 最大 )	10 ~ 90 % ( 結露しないこと ) <b>i</b>   <b>メモ:</b> 最大露点温度 = 26°C	0 ~ 95 % ( 結露しないこと ) <b>i</b>   <b>メモ:</b> 最大露点温度 = 33 °C
振動 ( 最大 )	0.66 Grms で 2 Hz ~ 600 Hz	1.33 Grms で 2 Hz ~ 600 Hz
衝撃 ( 最大 )	160 G†	160 G‡
高度 ( 最大 )	3048 m ( 10,000 ft )	10,668 m ( 35,000 フィート )

\* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

# セキュリティ

表 21. セキュリティ

セキュリティ	
Firmware TPM	有
Windows Hello のサポート	オプション
ケーブルカバー	無
シャーシ ロックスロットとループのサポート	有

# セキュリティ ソフトウェア

表 22. セキュリティ ソフトウェア

## セキュリティ ソフトウェア

---

Dell Endpoint Security Suite Enterprise	オプション
Dell Data Guardian	オプション
Dell Encryption ( Enterprise または Personal )	オプション
Dell Threat Defense	オプション
RSA SecurID Access	オプション
RSA NetWitness Endpoint	オプション
MozyPro または MozyEnterprise	オプション
Absolute Data & Device Security	オプション

# セットアップユーティリティ

**△ 注意:** コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

**① メモ:** BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- ・ RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- ・ システム設定情報の変更。
- ・ ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

**トピック :**

- ・ ブートメニュー
- ・ ナビゲーションキー
- ・ セットアップユーティリティのオプション
- ・ ブート シーケンス
- ・ Windows での BIOS のアップデート
- ・ システムパスワードおよびセットアップパスワード

## ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワнтаイム ブートメニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- ・ UEFI Boot :
  - ・ ウィンドウズブートマネージャー
- ・ 別のオプション :
  - ・ BIOS セットアップ
  - ・ BIOS Flash Update
  - ・ 診断
  - ・ Change Boot Mode Settings ( 起動モードの設定の変更 )

## ナビゲーションキー

**① メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか ( 該当する場合 )、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。

キー	ナビゲーション
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

## セットアップユーティリティのオプション

**メモ:** お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

### 一般オプション

表 23. 一般規定

オプション	説明
システム情報	<p>このセクションには、PC の主要なハードウェア機能が一覧表示されます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>システム情報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BIOS バージョン</li> <li>・ サービス タグ</li> <li>・ Asset Tag</li> <li>・ Ownership Tag</li> <li>・ Manufacture Date</li> <li>・ Express Service Code</li> </ul> </li> <li>・ <b>メモリー構成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Memory Installed</li> <li>・ Memory Available</li> <li>・ Memory Speed</li> <li>・ Memory Channel Mode</li> <li>・ Memory Technology</li> <li>・ DIMM A Size</li> </ul> </li> </ul> <p><b>メモ:</b> システムの使用のために割り当てられたメモリー量によっては、[ <b>Memory Available</b> ] は [ <b>Memory Installed</b> ] よりも小さくなります。また、オペレーティングシステムによっては、使用可能なメモリーのすべては利用できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>プロセッサ情報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Processor Type</li> <li>・ Core Count</li> <li>・ Processor ID</li> <li>・ Current Clock Speed</li> <li>・ Maximum Clock Speed</li> <li>・ Processor L2 Cache</li> <li>・ Processor L3 Cache</li> <li>・ HT Capable</li> <li>・ 64-Bit Technology</li> </ul> </li> <li>・ <b>デバイス情報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SATA-0</li> <li>・ M.2 PCIe SSD-0</li> <li>・ LOM MAC Address</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Passthrough MAC Address</li> <li>・ Video Controller</li> <li>・ Video BIOS Version</li> <li>・ Video Memory</li> <li>・ Panel Type</li> <li>・ Native Resolution</li> <li>・ Audio Controller</li> <li>・ WiFi デバイス</li> <li>・ Bluetooth Device</li> </ul>
<b>Battery Information</b>	バッテリー状態、正常性、および PC に接続されている AC アダプターの種類を表示します。
ブート シーケンス	<p>PC によるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウィンドウズブートマネージャー</li> <li>・ <b>Onboard NIC ( IPV4 )</b></li> <li>・ <b>オンボード NIC ( IPV6 )</b></li> </ul> <p>ブート リスト オプションを変更できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レガシー外付けデバイス</li> <li>・ <b>UEFI - デフォルト</b></li> </ul>
詳細起動オプション	<p>レガシー オプション ROM を有効にできます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable Legacy Option ROMs</b></li> <li>・ <b>Enable Attempt Legacy Boot( レガシー起動試行を有効にする )</b></li> </ul>
<b>UEFI Boot Path Security</b>	<p>UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Always, Except Internal HDD - デフォルト</b></li> <li>・ <b>Always</b></li> <li>・ <b>Never</b></li> </ul>
<b>Date/Time</b>	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。

## システム設定

表 24. システム設定

オプション	説明
<b>Integrated NIC</b>	<p>内蔵ネットワーク コントローラーを設定することができます。</p> <p><b>Enable UEFI Network Stack</b> : デフォルトでは有効。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Disabled</b> : 内蔵 LAN がオフのため、オペレーティングシステムに認識されません。</li> <li>・ <b>Enabled</b> : 内蔵 LAN が有効です。</li> </ul>

オプション	説明
<b>SATA Operation</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enabled w/PXE</b> 内蔵 LAN が有効です ( PXE 起動 ) - デフォルト</li> </ul> <p>内蔵 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>無効</b></li> <li>• <b>AHCI</b></li> <li>• <b>RAID On</b> - デフォルト</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> RAID モードをサポートするには <b>SATA</b> を設定します。</p>
<b>Drives</b>	<p>各種オンボード ドライブを有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>SATA-0</b></li> <li>• <b>M.2 PCIe SSD-0</b></li> </ul>
<b>SMART レポート</b>	<p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハード ドライブ エラーを起動時に報告するかどうかを制御します。</p> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
<b>USB 設定</b>	<p>内部/内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable USB Boot Support ( USB 起動サポートを有効にする )</b></li> <li>• <b>Enable External USB Ports ( 外付け USB ポートを有効にする )</b></li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで設定されています。</p> <p> <b>メモ:</b> USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
<b>Dell Type-C Dock Configuration</b>	<p>USB や Thunderbolt アダプターの設定とは関係なく、デルの WD および TB のドック ファミリー ( タイプ C ドック ) と接続できるようにします。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
<b>オーディオ</b>	<p>内蔵オーディオ コントローラーを有効または無効にすることができます。デフォルトでは <b>Enable Audio</b> オプションが選択されています。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Microphone ( マイクロフォンを有効にする )</b></li> <li>• <b>Enable Internal Speaker ( 内蔵スピーカーを有効にする )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
<b>タッチスクリーン</b>	<p>このオプションは、タッチスクリーンを有効にするか無効にするかを制御します。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
<b>Miscellaneous devices</b>	<p>各種オンボード デバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable camera</b> - デフォルト</li> <li>• <b>Enable Secure Digital (SD) Card</b> - デフォルトで有効</li> </ul>

- ・ **Secure Digital (SD) Card Boot** - 無効になっています
- ・ **Secure Digital Card (SD) Read-Only Mode** - 無効になっています

## ビデオ画面のオプション


表 25. ビデオ

オプション	説明
<b>LCD Brightness</b>	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。電源は、バッテリー (50%がデフォルト) と AC (100%がデフォルト) です。
<b>Switchable Graphics</b>	このオプションは、NVIDIA Optimus や SMD PowerExpress のような切り替え可能なグラフィックス テクノロジーを有効または無効にします。  Windows 7 以降のバージョン、または Ubuntu OS の場合のみ有効にする必要があります。この機能は他のオペレーティングシステムには適用されません。

## セキュリティ

表 26. セキュリティ

オプション	説明
<b>Admin Password</b>	管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enter the old password</b> (古いパスワードを入力する)</li> <li>・ <b>Enter the new password</b> (新しいパスワードを入力する)</li> <li>・ <b>新しいパスワードの確認</b></li> </ul> パスワードを設定したら、 <b>OK</b> をクリックします。 <i>i</i> <b>メモ:</b> 最初のログイン時には、[ <b>Enter the old password:</b> ] フィールドは [ <b>Not set</b> ] と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除することができます
<b>System Password</b>	システムパスワードを設定、変更、削除することができます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enter the old password</b> (古いパスワードを入力する)</li> <li>・ <b>Enter the new password</b> (新しいパスワードを入力する)</li> <li>・ <b>新しいパスワードの確認</b></li> </ul> パスワードを設定したら、 <b>OK</b> をクリックします。 <i>i</i> <b>メモ:</b> 最初のログイン時には、[ <b>Enter the old password:</b> ] フィールドは [ <b>Not set</b> ] と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除することができます
<b>Strong Password</b>	常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable Strong Password</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Password Configuration</b>	パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。

オプション	説明
<b>Password Bypass</b>	これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をバイパスすることができます。 次のいずれかのオプションをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Disabled</b> - デフォルト</li> <li>・ <b>Reboot bypass (再起動のスキップ)</b></li> </ul>
<b>Password Change</b>	管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Allow Non-Admin Password Changes</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトで設定されています。
<b>Non-Admin Setup Changes</b>	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップ オプションは Admin パスワードによってロックされます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Allow Wireless Switch Changes</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>UEFI Capsule Firmware Updates</b>	システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable UEFI Capsule Firmware Updates</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトで設定されています。
<b>PTT Security</b>	このオプションでは、Platform Trust Technology ( PTT ) 機能をオペレーティング システムに認識させるかどうかを制御できます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>PTT On</b> - デフォルトで有効</li> <li>・ <b>Clear (クリア)</b></li> <li>・ <b>PPI ByPass for Clear Command</b></li> </ul>
<b>Computrace (R)</b>	オプションである Computrace ソフトウェアを次のオプションで起動または無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Deactivate</b></li> <li>・ <b>Disable</b></li> <li>・ <b>Activate</b> - デフォルト</li> </ul>
<b>CPU XD Support</b>	プロセッサの実行無効モードを有効または無効にすることができます。オペレーティング システムはこの機能を使ってバッファ オーバーフローを悪用する悪意のあるプログラムを阻止します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable CPU XD Support</b> - デフォルト</li> </ul>
<b>Admin Setup Lockout</b>	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Master Password Lockout</b>	マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable Master Password Lockout</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。  <b>メモ:</b> この設定を変更する前には、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。
<b>SMM Security Mitigation</b>	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>SMM Security Mitigation</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

# セキュア ブート

表 27. セキュア ブート

オプション	説明
<b>Secure Boot Enable</b>	セキュア ブート機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>セキュア ブートを有効にする</b> デフォルトでは有効ではありません</li></ul>
<b>Secure Boot Mode</b>	セキュア ブート操作モードを変更すると、動作が変更され、UEFI ドライバー署名の評価ができるようになります。 次のオプションのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Deployed Mode</b> - デフォルト</li><li>・ <b>Audit Mode</b></li></ul>
<b>エキスパートキー管理</b>	Expert Key Management を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>カスタムモードを有効にする</b></li></ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。 Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>PK</b> - デフォルト</li><li>・ <b>KEK</b></li><li>・ <b>db</b></li><li>・ <b>dbx</b></li></ul>

# インテル ソフトウェア ガード エクステンションズのオプション

表 28. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
<b>Intel SGX Enable</b>	このフィールドでは、メイン オペレーティング システムのコンテキストでコードの実行や、機密情報の保存を行うためのセキュアな環境を設定できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>無効</b></li><li>・ <b>有効</b></li><li>・ <b>Software controlled</b> ( デフォルト )</li></ul>
<b>エンクレーブメモリ-サイズ</b>	このオプションで、 <b>SGX エンクレーブ リザーブ メモリー サイズ</b> を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>32 MB</b></li><li>・ <b>64 MB</b></li><li>・ <b>128 MB</b> ( デフォルト )</li></ul>

# パフォーマンス

表 29. パフォーマンス

オプション	説明
<b>Multi Core Support</b>	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>All</b> — デフォルト</li><li>・ <b>1</b></li><li>・ <b>2</b></li><li>・ <b>3</b></li></ul>
<b>Intel SpeedStep</b>	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Enable Intel SpeedStep ( Intel SpeedStep を有効にする )</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
<b>C-States Control</b>	<p>プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>C States</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
<b>Hyper-Thread Control</b>	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Disabled ( 無効 )</b></li><li>・ <b>Enabled</b> — デフォルト</li></ul>

# 電源管理

表 30. 電源管理

オプション	説明
<b>AC Behavior</b>	<p>AC アダプターが接続されると PC の電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Wake on AC ( ウェイクオン AC )</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>Enable Intel Speed Shift technology</b>	<p>このオプションを使用して、インテル Speed Shift Technology のサポートを有効または無効に設定します。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されていません。</p>
<b>Auto On Time</b>	<p>PC を自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Disabled</b> - デフォルト</li><li>・ <b>Every Day ( 毎日 )</b></li><li>・ <b>Weekdays ( 平日 )</b></li><li>・ <b>Select Days ( 選択した日 )</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>USB Wake Support</b>	<p>USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable USB Wake Support ( USB ウェイクサポートを有効にする )</b></li> <li>・ <b>Wake on Dell USB-C Dock</b> - デフォルト</li> </ul>
<b>Wireless Radio Control</b>	<p>このオプションを有効にした場合、システムの有線ネットワークへの接続を感知して、選択したワイヤレス通信 ( WLAN および WWAN ) を無効にします。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が有効化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Control WLAN radio ( WLAN 無線の制御 )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>Wake on LAN/WLAN</b>	<p>このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガーすることで、PC の電源をオフ状態から投入することができます。スタンバイからのウェイクアップは、この設定による影響はなく、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、PC が AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Disabled ( デフォルト )</b> - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信したときに、特殊な LAN 信号によりシステムの電源をオンにすることができなくなります。</li> <li>・ <b>LAN or WLAN ( LAN または WLAN )</b> - 特殊な LAN または WLAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> <li>・ <b>LAN Only ( LAN のみ )</b> - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> <li>・ <b>WLAN Only ( WLAN のみ )</b> - 特殊な WLAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> <li>・ <b>LAN with PXE Boot A wake up packet is sent to the system in either the S4 or S5</b></li> </ul>
<b>Block Sleep</b>	<p>このオプションでは、オペレーティングシステムの環境でスリープに入ることを防ぐことができます。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>Peak Shift</b>	<p>ピークシフト機能を有効または無効にすることができます。この機能を有効にすると、需要ピーク時の AC 電源の使用量を最小限に抑えることができます。バッテリーは、ピークシフト開始から終了まで充電されません。</p> <p>ピークシフトの開始および終了時刻は、平日すべてに設定することができます。</p> <p>このオプションは、バッテリーのしきい値 ( 15% ~ 100% ) を設定します。</p>
<b>Advanced Battery Charge Configuration</b>	<p>このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。</p> <p>Advanced Battery Charge Mode は、平日すべてに設定することができます。</p>
<b>Primary Battery Charge Configuration</b>	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Adaptive</b> - デフォルト</li> <li>・ <b>Standard</b> - 標準速度でバッテリーをフル充電します。</li> <li>・ <b>ExpressCharge</b> - デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電することができます。</li> <li>・ <b>Primarily AC use ( 主に AC を使用 )</b></li> <li>・ <b>カスタム</b></li> </ul> <p>Custom Charge ( カスタム充電 ) が選択されている場合は、Custom Charge Start ( カスタム充電開始 ) と Custom Charge Stop ( カスタム充電停止 ) も設定できます。</p> <p> <b>メモ:</b> バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。</p>

# POST 動作

表 31. POST 動作

オプション	説明
<b>Adapter Warnings</b>	特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Enable Adapter Warnings</b> - デフォルト</li></ul>
<b>Numlock Enable</b>	システム起動時に Numlock オプションを有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Enable Numlock</b> - デフォルト</li></ul>
<b>Fn Lock Options</b>	ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Fn Lock</b> - デフォルト</li></ul> 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Lock Mode Disable/Standard</b> - デフォルト</li><li>・ <b>ロックモード有効/セカンダリ</b></li></ul>
<b>Fastboot</b>	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Minimal</b> - デフォルト</li><li>・ <b>Thorough (完全)</b></li><li>・ <b>自動</b></li></ul>
<b>Extended BIOS POST Time</b>	プレブート遅延を追加で作成できます。次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>0 seconds</b> - デフォルト</li><li>・ <b>5 秒</b></li><li>・ <b>10 秒</b></li></ul>
<b>Full Screen logo</b>	画像が画面解像度と一致する場合は、フルスクリーンロゴを表示できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Enable Full Screen Logo (フルスクリーンロゴを有効にする)</b></li></ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Warnings and Errors</b>	POST 中に警告またはエラーが検出された場合に、次のようなオプションを選択することができます。停止し、プロンプトを表示してユーザーの入力を待機する、警告が検出されたときには継続するがエラーでは一時停止する、警告でもエラーでも継続する。次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Prompt on Warnings and Errors</b> - デフォルト</li><li>・ <b>Continue on Warnings (警告検出でも続行)</b></li><li>・ <b>Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)</b></li></ul>
<b>MAC Address Pass-Through</b>	この機能は、外部 NIC MAC アドレス (サポートされているドックまたは dongle 内) を、システムで選択された MAC アドレスに置き換えます。次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Passthrough MAC Address</b> - デフォルト</li><li>・ <b>Integrated NIC 1 MAC Address</b></li><li>・ <b>Disabled (無効)</b></li></ul>

# Virtualization Support ( 仮想化サポート )

表 32. 仮想化サポート

オプション	説明
<b>Virtualization</b>	<p>このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Enable Intel Virtualization Technology</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
<b>VT for Direct I/O</b>	<p>ダイレクト I/O 向けインテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Enable VT for Direct I/O</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>

## ワイヤレスオプション


表 33. ワイヤレス

オプション	説明
<b>Wireless Switch</b>	<p>ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>WLAN</b></li><li>・ <b>Bluetooth</b></li></ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
<b>Wireless Device Enable</b>	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>WLAN</b></li><li>・ <b>Bluetooth</b></li></ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

## メンテナンス

表 34. メンテナンス

オプション	説明
<b>サービス タグ</b>	<p>PC のサービス タグを表示します。</p>
<b>Asset Tag</b>	<p>Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>BIOS Downgrade</b>	<p>システム ファームウェアの以前のバージョンをフラッシュすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Allow BIOS Downgrade ( BIOS のダウングレードを許可する )</b></li></ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
<b>Data Wipe</b>	<p>すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Wipe on Next Boot</b></li></ul>

オプション	説明
	このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Bios Recovery</b>	<p><b>BIOS Recovery from Hard Drive</b> - このオプションはデフォルトで設定されています。HDD または外部 USB ドライブのリカバリー ファイルから、破損した BIOS をリカバリーできます。</p> <p><b>BIOS Auto-Recovery</b> - BIOS を自動的にリカバリーできます。</p> <p> <b>メモ:</b> [ BIOS Recovery from Hard Drive ] フィールドを有効にする必要があります。</p> <p><b>Always Perform Integrity Check</b> - 毎回起動時に整合性チェックを実行します。</p>

## システムログ

表 35. システムログ

オプション	説明
<b>BIOS events</b>	セットアップユーティリティ ( BIOS ) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
<b>Thermal Events</b>	セットアップユーティリティ ( Thermal ) のイベントを表示またはクリアすることができます。
<b>Power Events</b>	セットアップユーティリティ ( Power ) のイベントを表示またはクリアすることができます。

## SupportAssist システムの解決策

表 36. SupportAssist システムの解決策


オプション	説明
<b>Auto OS Recovery Threshold</b>	<p>[ Auto OS Recovery Threshold ] セットアップ オプションでは、SupportAssist システム解決策コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動フローを制御します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0</li> <li>・ 1</li> <li>・ 2 - デフォルト</li> <li>・ 3</li> </ul>
<b>SupportAssist OS Recovery</b>	<p>[ SupportAssist OS Recovery ] オプションは、特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist OS Recovery ツールの起動フローを有効または無効にします。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>

## ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス ( 例 : 光学ドライブまたはハード ドライブ ) から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト ( POST ) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- ・ F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- ・ F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ STXXXX ドライブ
- ・  **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ 光学ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ SATA ハード ドライブ ( 利用可能な場合 )

・ 診断

**メモ:** 診断を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

## Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

**メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. PC を再起動します。
2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
  - ・ サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、送信をクリックします。
  - ・ [ **Detect Product** ] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[ **Choose from all products** ] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

**メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の製品サポートページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。  
[ Drivers and Downloads ] セクションが開きます。
7. [ **Find it myself** ] をクリックします。
8. [ **BIOS** ] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**ファイルのダウンロード** をクリックします。  
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存** をクリックします。
12. **実行** をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。

## USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブート可能 USB フラッシュ ドライブに保存します。

**メモ:** ブート可能 USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。さらなる詳細については、次の記事を参照してください。「[Dell Diagnostics Deployment Package \(DDDP\) を使用してブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成する方法](#)」

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブート可能 USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのすブラッシュ ログが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB ストレージ デバイス** を選択し、[ **Enter** ] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [ **Enter** ] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティがロードされます。画面の指示に従います。

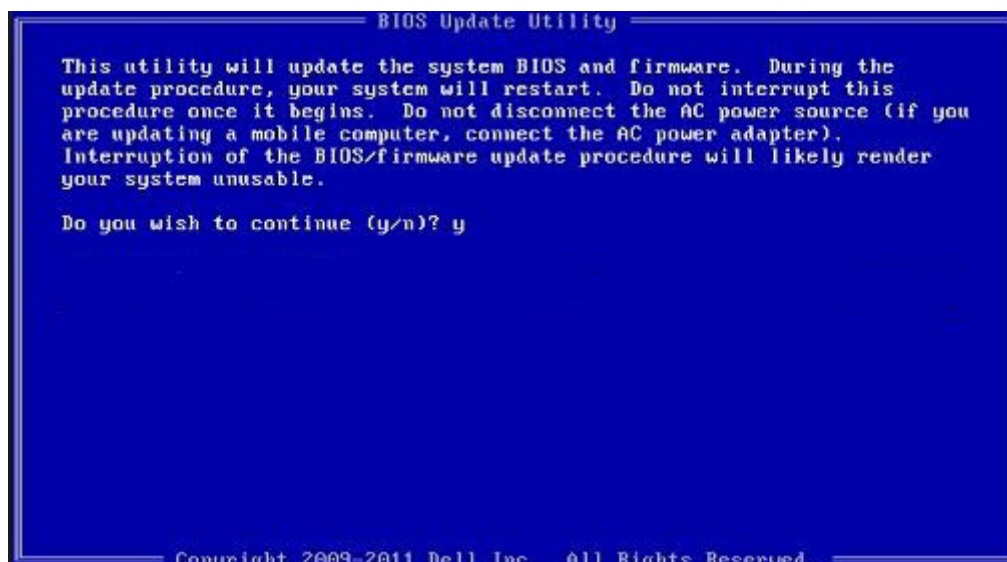


図 1. DOS の BIOS アップデート画面

## Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、「<https://www.dell.com/support/article/sln171755/>」を参照してください。

## システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 37. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

**△ 注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

**△ 注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

**ⓘ メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

## システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが未設定の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

- システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、セキュリティを選択し、**Enter** を押します。セキュリティ画面が表示されます。
- システム/管理者パスワードを選択し、新しいパスワードを入力フィールドでパスワードを作成します。以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
  - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、( )、( + )、( , )、( - )、( . )、( / )、( ; )、( [ )、( \ )、( ] )、( ` )

3. 新しいパスワードの**確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK**をクリックします。
4. **Esc**を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y**を押して変更を保存します。  
PCが再起動します。

## 既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、パスワード ステータスが(システム セットアップで)ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. システム **BIOS** 画面またはシステム セットアップ画面で、システム セキュリティを選択し、**Enter** を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. システム パスワードを選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. セットアップ パスワードを選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。  
**i** **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc**を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y**を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。  
PCが再起動されます。

# ソフトウェアとトラブルシューティング

## オペレーティングシステム

表 38. オペレーティングシステム

### オペレーティングシステム

サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 Home ( 64 ビット )</li> <li>Windows 10 Professional ( 64 ビット )</li> <li>Windows 10 Professional S モード</li> <li>Windows 10 Professional Embedded ( OEM カスタマーのみ )</li> <li>Ubuntu 16.04 LTS ( 64 ビット )</li> </ul>
-----------------------	--

## Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

**メモ:** このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。

**メモ:** 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

- お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
- Windows サーチに **回復** と入力します。
- 検索結果で、**回復ドライブの作成** をクリックします。  
ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。
- はい** をクリックして続行します。  
回復ドライブ ウィンドウが表示されます。
- システムファイルを回復ドライブにバックアップします を選択し、**次へ** をクリックします。
- USB フラッシュドライブ** を選択し、**次へ** をクリックします。  
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
- 作成** をクリックします。
- 完了** をクリックします。  
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、[www.dell.com/support/manuals](http://www.dell.com/support/manuals) にあるお使いの製品の『サービス マニュアル』で、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

## Windows ドライバのダウンロード

- ノートパソコンの電源を入れます。
- [Dell.com/support](http://Dell.com/support) にアクセスしてください。
- 製品サポート** をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、**送信** をクリックします。

**メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。

- Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)** をクリックします。
- お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
- ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
- ファイルのダウンロード** をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
- ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。

9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)
- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

## デルへのお問い合わせ

**① メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [Dell.com/support](#) にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域の選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

## デルへのお問い合わせ

**① メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [Dell.com/support](#) にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域の選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。